

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

(1) パブリックコメントの報告について

○委員長：ありがとうございます。ただいまパブリックコメントについて説明がありました。全体で提出者が18名、意見が48件、いろいろお手伝いさせていただいている土浦市で、提出者が15名前後で、意見が20件程度なので、人口規模を比較すると潮来市は5分の1くらいだと思いますので、かなり反応があったと思う。また、意見もご説明いただきましたが、かなり前向きなご意見をいただいている。これを受けて事務局案として回答を作成してホームページにアップするということですので、ご意見をお願いできればと思います。いかがでしょうか。

○A委員：今日が最後ということですよ。パブリックコメントで集約したものを、今回でまとめていくということだと思います。冒頭1回目の会議で意見を言わせて頂いて、自分の反省の中であまり会議の中で言わなかったことでもあるのですが、まとめの段階に来まして、新たな意見を言う機会でもないと思いますが、気がついたことを何点かお話ししたい。一時期、議会の席に身を置かせて頂いたときに、市の財政ということが、議員同士の中で質問が出て、財政をどのような形で見ていくのかということを経験したことがあるが、この中で見ると、表現されているのは財政力指数、経常収支比率が明記されているが、財政という視点から見るといろいろな見方があるが、この2つで良いのかどうか。そこをまずお尋ねしたい。

→事務局：今、A委員の方から、基本構想の18ページに記載されている経常収支比率と財政力指数だと思いますが、経常収支比率については、人件費とか公債費また扶助費、その部分でどのくらいの財政の自由が利くのかということ、財政力指数については、地方公共団体の財政力を示すもので、指数の高いほど自主財源の割合が高いということになります。今、これに合わせて潮来市としましては行財政改革大綱の策定をしています。その他、借金をどのくらい返したか、そういう具体的な指標や、市が向かう方向性等についてはそちらの方に個別具体化させていただきながら、数字の方を提出する計画を策定しています。この中では、一般の方が見てわかりやすいような表示とさせていただいています。その他については、こちらの行財政改革。第6次総合計画では、かなり後ろの方の6章でありましたが、市民等の意見などを踏まえ、潮来市として行財政改革の推進は重要であるという認識のもと、今回は第3章に上げ、持続可能な自治体を運営していくという強い意志を持った形で、小規模自治体がどうやって生き残っていくのかということ、皆さんと鑑みていく

ということで第3章に上げさせていただいています。その具体的な部分については、行財政改革大綱の方に述べさせていただきたいと考えています。

○A 委員：もう一点。表現の部分だが基本構想の10ページ。将来の潮来の暮らしのあり方。この地域においては、鹿嶋市や神栖市との関係を構築するとともに、という文面があるが、ここに、なぜ行方市が入らないのかということが疑問。といいますのは、選挙区も県会の場合は、行方は潮来市の選挙区に今回なっている。将来的には、私は、行方市は鹿島開発の時から鹿行は一つという形で、そういう構想を持ちながら今日まで来た経緯がある。私も商工会としても一つの商工会で維持することはなかなか困難です。そのため鹿行は一つということで会長同士の合言葉としている。将来にわたって鹿行は一つというのが望ましいのかなということになりますと、当然ながら、行財政の規模でも鹿嶋や神栖と比較にならないが、その中で、もう一つは行方という地名が抜けていることについて、これで良いのかなという思いがした。それと合わせて、東関東自動車道が間もなく開通すると思うが、潮来市でも工事が始まっている。東京から水戸までつながる。私は見逃してはならないと思っていることがある。潮来の昔の歴史は土浦なんです。霞ヶ浦を船で来て、霞ヶ浦から東京に行った。私は、まちづくりは歴史がある、歴史の中で進めるといっているが、そうしたなかで考えた時に、今、土浦にこだわる。今、県内ではつくばが、一番人口が増えている。であるならば、東関東自動車道は潮来を通って行く。完成すれば万々歳です。もう一つ。北関東と結びつけるそういう意味からすると、霞ヶ浦の東側というか、つくば、土浦と結びつける。これが大事なのでは、これから潮来の生きる道として。観光協会会長がいらっしゃいますが、北関東自動車道ができて北関東の客が増えている。いうならば、霞ヶ浦を東側と西側を縦貫するお客さんが増えている。そういうことを考えると、つくばとの結びつきは、これから潮来にとっては死活問題、大事な問題。これができて初めて、潮来が一番の結節点になるのではないか。これは早く自分の持論を早く言えばよかったんですが、最後にこの段階になって申し訳ないが、その一点が気になったので、意見を言わせていただいた。

→事務局：まず、行方市との関係で、潮来市の暮らしのあり方について、鹿嶋市や神栖市があり、行方市が抜けているということについてですが15ページをご覧くださいと思います。人口動態、社会動態、自然動態が減少しているという中で、転入、転出の状況が鹿嶋市に潮来市からどのくらい流れていくのか、神栖市に潮来市からどのくらい流れていくのかということを図で示したものがあります。その中で、潮来市は、「勤める」という考え方では鹿嶋市、神栖市が多くなっています。アンケートでも、「買い物はどこですか」という質問については、つくば、成田も含まれておりますが、子育てなどのヒアリングですと、鹿嶋市、神栖市との連携がどうやら、市民の方は深く関わっているということでありました。その内容については、アンケートの状況で25ページの中に、まず、ヒアリングという結果の中に、潮来市について満足していること、不満なことの中に、子育て支援が周辺、鹿嶋市、神栖市と比べて不十分、商業施設については、日常的には神栖市に行ったり、レジャーの伴うものは、つくば市や成田市に行く。広域的な部分と生活のいろんな部分で鹿嶋市、神栖市と密になっているということ踏まえまして、基本構想で市民の方の考え方

や、将来の潮来の在り方について記載しております。いろいろな部分で、今の行方市の関係については考慮すべき部分もあると考えますが、その中で、この基本構想については、市民の方のいろいろな意見を踏まえ、鹿嶋市、神栖市と記載させていただいていることを、まずはご理解いただきたいと思います。その他につきまして、今後、商工会、観光協会と一緒に、ともにということについては、商業の部分、観光の部分でいろいろ連携を広域的な部分でやっていかなければいけないと述べさせているので、詳細な部分については今後検討を進めさせていただければと考えております。その他、土浦、つくばについては、先ほどのアンケートにもありますが、いろいろな部分で、潮来に住んでいる人が広域的な動きをしていることを把握している状態です。基本構想の 21 ページには東関東自動車道を含み、つくば霞ヶ浦りんりんロードということで、つくば、霞ヶ浦を含み約 180km のサイクリングロードという形で新しく自転車というもので、連携を図ってきています。来年度ですが、予定として「サイクルーズ」ということで、霞ヶ浦を使って、土浦から潮来までの自転車や人を運ぶ船の本数を増やそうということで試験的に行うこととなっております。そういった陸、湖等を使った部分、自動車でなく自転車ということで、霞ヶ浦周辺の 14 市町村をいろいろな形で連携を取りながら、新たな活性化をしていければと、茨城県を中心にいろいろな形で深めていければと思っております。A 委員が言われました今後の発展に向けていろいろな連携については、具体的な部分は総合計画なので載せることは困難なため、そういうことを踏まえ、住民の方のいろいろ広域な部分、市町村との連携を図っていることについてはご理解をいただきたいと思います。

○A 委員：答弁が上手だからなるほどだと思ふ。道路に関しては、りんりんロードは、それはそれでいいが、主要幹線道路を呼び込むべきと思っている。江戸崎、成田までつながっているが、あれを高速道路の枝線を、幹線道路をできないかなと思っている。結構です。ありがとうございました。

○委員長：18 ページ、財政のところ。ここグラフ入れられないか。スペースも空いているし、財政は極めて大事なので。あと 10 ページ、私は行方を入れてもいいと思う。あまり限定しないで、これから広域連携も、いろんなパターンができると思う。市町村合併という話はだんだん厳しくなっている。広域連携なので、相手はたくさん持っていた方がいいと思う。書いても損はないと思う。

→事務局：10 ページに追記します。

○委員長：行方とか、場合によっては歴史的な背景から、霞ヶ浦に行ったということも。

○A 委員：財政はどれも大事だが、なにを一番大事にしているのか。

○委員長：いろいろな指標があり、どれも一長一短だが、我々は財政力指数を使いたい。一番浸透している。あまり載せるとわかりづらくなるので、2つだと思ふが、ご理解いただきたい。棒グラフにさせていただくだけで財政力を考えているという意味になると思う。

○A 委員：総合計画が最上位計画であるが、例えば新たな事業を興して借金するときに、財務省とか自治省が大丈夫なのかと見方をしていくと聞いたことがあるが、いろいろな指数があるが何をみるのか。

→事務局：基本計画の 37 ページ、A 委員が今おっしゃった、実質収支、実質公債費比率など。その

辺については 37 ページに記載しています。5 年間分を掲載しています。

○委員長：パブコメに関してご意見を頂ければと思うが。ありませんか。

## (2) 潮来市第 7 次総合計画（案）について。

○委員長：ありがとうございました。今の修正の部分、あるいはパブリックコメントを踏まえた、あるいは皆様からのご意見がありましたらお願いします。

○B 委員：キャリア教育について入れていただいてありがとうございます。資料集のキャリア教育の定義が、子どもたちのキャリア教育になっている。用語集の 6 ページの 39 番。決めつけ、上からいっているが、今のキャリア教育はそうではない。その人にとって新しい時代に向けて対応できるように、その人にとって望ましいキャリア形成支援をするということなので、教えるという教育でなく育む。その人の興味・関心を聞いて支援していく。子供の心のこともしれないけれども少し変えた方が良い。教える決めつけはしないので。

→事務局：修正させていただきます。大人と子どもについても適切に分けて記載します。

○B 委員：自立をすることを支援するとなっているが、大人だったら自立をしたあとにその人の職業観とか人生観が変わってくるので自立をした後の支援。どんなキャリアを持って世を渡っていくかとは違って、そのために見合う教育をもう一回受けましょうとか、そういう時代なので、変えた方がいいかなと思う。

○委員長：キャリアの方が余ってきている。今後、見直した方がいいと思う。

○C 委員：パブリックコメントは、ホームページ等で回答とあるが個別での回答もあるのか。

→事務局：募集する際に、ホームページ上で公開する旨を伝えております。また、名前と住所の記載のない方もおります。そのため、ホームページ上のみと考えております。

○委員長：今回パブリックコメントがよかった。意見も良かったし前向きな意見もあったので、C 委員のおっしゃるような個別ということもあるが、一般的にはホームページで公開する事は大体どこの自治体も行っている。

○C 委員：関心の掘り起こしということ。せっかくこうやって作って、これだけのコメントを出してくれたことに対して、丁寧に回答してあげれば、よりまた関心を持ってもらえる。ホームページを見て、自分の意見を聞いてもらえたという満足感があるのではないかな。いいことだと思う。

○D 委員：コメントの報告と回答が良くできているので、意見はない。私は今、道の駅に勤めているが、その他の部分で地産地消の加工品を含めてというのは、意見にあったとおり、地域に愛されるように努力していきたいなと個人的に思った。

○委員長：道の駅も地域間競争が激しくなっている。大変な時代だと思う。

○E 委員：パブリックコメントに関して、市民の方もいい意見を持っていると思った。感心しました。その中で消防の 70 ページの消防団。防災消防に関してという欄で現在消防団の活動が難しいと書かれている。また、高速道路が 30 分以内に消防署の設置とも書いてあっていいと思う。災害になった時の対応として、退団する方々、団員が年間 3~40 人くらい。補充もなかなかできない状況。災害時用の消防団員を考えている。消防団を退団したら終わりではなく、災害時だけ機能別消防団もあってもいいのかなと。市民の意見もよかった

と思う。

- F 委員:いろいろなことで不勉強だったが勉強させていただきました。気になっていたのが病院。不安になることがあって、潮来市に総合病院があればとかねがね気になっている。
- 委員長:一般論で言うと、どこの自治体も今病院については問題になっている。一方でモビリティを掲げながら、病院までのアクセスを確保しようとしているが、例えばドクターヘリ、ドクターカーなどで、何かあった時に対応するという方法がある。つくば市の総合計画でも、つくばにはいっぱい病院はあるが、周辺部は足りないという状況もある。潮来の状況は分からないが、一般論ではそのような形。
- A 委員:関連して、過日、行方総合病院。来年度救急医療の受け入れを停止するという。潮来市民にとって救急医療は切なる願望で心配事である。唯一の救急病院の一つで受け入れができないことになる。潮来は鹿嶋医療圏に入っている。鹿嶋医療圏には当時5つの総合病院があった。行方総合病院は石岡医療圏だった。なぜ潮来が該当しないのか、該当しないのに負担金を出してやらなきゃいけないのか。医療圏の見直しをしてくださいと、負担金の見直しをお願いした経緯があるんです。現実、今ベッド数は充足していると思うが、未だに医療圏が見直されていないのではないかと、あとで調べて欲しい。鹿嶋医療圏に多分入っていると思う。潮来の患者は鹿嶋医療圏だが、行方総合病院に運営費の拠出をしている。救急医療に関しては、つくばの話もあったが、もう少しドクターヘリを活用して救急医療体制を考える必要があるのではないかと。ですから、主要幹線道路もつくばまでの関係も含めて考えていった方が良いのではと思う。
- 委員長:今、研究室で救急車に信号を合わせられないか研究している。規制緩和できればと。ただまず警察が厳しい。ハードルが高い。そこを変えていかないといけない。
- A 委員:救急車が患者のところに行って、受け皿の病院が決定して出発するまで4~50分かかる。
- 委員長:そういうところも含めて対応を検討する必要がある。
- G 委員:さっき、A 委員がおっしゃった部分で、実際極論を言えば、水戸から土浦・つくばに茨城の基本的なものは移行しているということだが、実は旅行会社さん全部、主力の支店がこちらに移っている。もしくは新しい支店は、全部取手からつくばのエリアということで、さすがにショックを感じている、その通りだなという動きをしている。今回、録音されているということなので、基本りんりんロードですが、観光ベースで話をしないと来ている意味がないので、実際、りんりんロードについても潮来まで整備されていない。
- 事務局:潮来につきましては、国や県などの協力により、昨年度、霞ヶ浦ホテル付近の前700mが舗装され完了しております。
- G 委員:協会の方に言われたので有難い。観光行動を起こさせるための観光対象である。観光対象の根っこにある要素としての観光資源のあり方が、昔と違う方向性を向いているという現状がある。観光業についてのあり様について、文言について一言一句について言うつもりはないが、観光行動を起こさせる要素としての観光資源の開発のようなものを、いわゆるアミューズメントだとかエンターテインメントだとか食だとか、食といっても幅が広いが、どういう部分に、よく昔から複合的とか重層的とかいわれるがそういったものを付け加えていただければ今後ありがたい。それから、分野違いだが、体験値、経験値みたいなもの

がベースになってしか学ぶことが出来ない人間ですので、44、45 ページ。子供たちの教育に関する部分だが、教育委員会の方々、義務教育レベルの校長先生とか教務主任の方とか担任の方々、今受験をしているが、県平均を全学年全教科で上回る目標値、色々書いてあるが、千葉県ばかり、神奈川県ばかりがいい訳ではないが、でも、中学校の間についても潮来は修学旅行を秋やっている。他は、本当に子供たちを教育しようと思ったら、春、遅くても。気が利いたところは2年生で終了している、様な場所、市区町村もある様に聞いている。それから、今受験期。受験期のなかでバスケットボールやらせたり、サッカーやったりさせている。スポーツをやることは非常に結構だと思うが、利き腕じゃなかったからよかったが、受験直前に突き指した。こういったことが現状で潮来の街の教育で行われて、果たしてこういった立派な目標を掲げて、今後子どもたちが経験する初めての大会だと思う、受験は。そういった部分が達成されるんだろうかと感じている。项目的にこのようなアイテム、主要な取り組みがあったとか、書き並べることは文言を知っていればできることだが、この部分でこういうケアを視点、目線を、この市だからこういうところをしましたよ。そうですか、という風になってしまう。子どもたちが、今つまづいている部分、色々聞いてみますと、なぜ英語、勉強しなきゃなんないの？その部分が欠落していて、突然にご挨拶の教本があって、外国の先生が来て、という状況の中で、本当に子どもたちが、自分たちに必要で、これができると便利なんだよ、得するんだよ、これは、いずれ英語は世界語になっていく現状があります。それを説明しないで、何で困るか説明しないで英語なんです。実際にそういったような部分をこの中に、戦をするのは子どもたちなので、戦のできる子どもを作ってほしい。体操をやってはいけないということではない。ただ、学ぶ中に鍛えるというのがあると思う。3学期の受験期になってまで、フットワーク、トレーニング、エクササイズさせているというのが、果たして、教育指導要領なのかもしれませんが、今日の前にある戦いにどの程度供与しているのか、と感じたので、録音しているとのことだったので、お披露目させていただいた。観光から離れてしまったが、観光も根っこは人であるので、1人でもいい子どもたち、戦える、そして豊かな学識を持った子供たちができてくれるというのが、我々にとっても有難い。

→事務局：観光の方につきましては、65 ページ、施策の展開の方針の中に、観光マネジメントの強化を入れさせていただきました。これは、来年度、担当課から観光振興計画を策定すると聞いており、そのあたりの強化や、その辺りの観光施策を協議していただければと思います。教育につきまして、総合計画ではすべての事を網羅することはなかなか難しいことと考えます。抽象的な表現になってしまうのはいたし方ないと思われれます。ただ、学校教育課の方でも教育振興計画や、教育大綱という形で教育環境について、いじめの問題もしたり、学力の向上についてもしたり、現場の方々も考えながら実施して、今後さらに支援していきたいと考えております。

○H 委員：先ほども話題には出ていたが、パブリックコメントが前向きに書かれていると感じた。総合計画基本構想についても、用語集などを付け加えて、これからいかに行政、議会、一般市民がどう活用するかが大事と思う。

○I 委員：途中からだが市の仕組みがどうなっているか勉強させていただいた。ありがとうございます

ました。パブリックコメントの内容をみて、立場が変わるとこうも色んな意見があるのかなど。気づかない意見を寄せて頂いた。それらを一つの形にまとめるのは至難の業。事務局の皆さんに感謝申し上げます。

- J 委員：第7次総合計画、このような計画を立てていただいております。このあと、潮来市の学校適正化計画がありまして、教育委員の皆様と、このようなパブリックコメントを参考にさせていただきたい。今後ともよろしく申し上げます。
- K 委員：パブリックコメント、回答もそれなりに一生懸命、答えて頂いた。最終段階の総合計画での委員会なので、寄せられた案を一つでも多くくみ取れるように、できるだけ多く載せて欲しいと思う
- 委員長：今の意見は全体として、私もなるべく多く載せて頂きたいと思う。
- 事務局：事務局としては、これをどう進行していくのか。そこらへんに重点を置いていかなければならないと考えております。小さな声でも、いろんな部分で取り入れながら、事業を推進できるよう、各課と連携し対応していきたいと考えております。
- L 委員：教育基本計画のメンバーになっている。一番いいのは、主体的にかかわらせていただいて、潮来市の色んな方々の意見をダイレクトに聞くことができまして、自分なりに良かったと思う。それから、パブリックコメントを読ませていただいて、潮来市の計画にこれだけ真摯に考えて、総合的に掘りこめている。肯定的な意見がたくさん読み取れる。質の高い方々が、潮来にはたくさんいるんだな、真剣に考えているんだなと思う。計画を作るうえでの仕組み、方針の仕組み、会長さんや副会長さんをはじめとした仕組みのでき具合がこれだけの思いを伝えるってすごいなど。今後とも行政の方が主体的に関わることがいい関係を作れるのではないかと。パブリックコメントの中で印象的だったのは、G 委員さんもご指摘した教育というのが大切。人づくりが教育のベースになっている。潮来市はこんなに豊かな人達がいるんだという人づくり。パブリックコメントの中で女性の方が、潮来市で子どもを育てていけるのか。育てていく環境をベースにして、教育を考えていければ、最終的にいい人材が育てていけるのではないかと。
- C 委員：全然違った意見でも。今、受験のシーズン。学校現場を離れて数年たったが、心配していることがある。潮来高校はここ数十年定員割れしている。潮来市としては悲しいこと。今度新しく鹿嶋市は鹿嶋高校が中高一貫になる。将来的にもし潮来市が中高一貫をやることになった場合、果たして果たせるのかどうか。中学校の生徒が潮来高校に行きたがるのか。行きたい学校を地域で作らないと、地域に素晴らしい人材は育てないのではないかと。私自身が、龍ヶ崎、鹿嶋で一緒にさせていただいて、定員割れは経験していないが、定員割れしている学校の校長は苦労している。それが過去数十年潮来の高校では続いているのに、なぜそこに問題を持って行かないのか。地元为学校に行きたくなるような学校づくりをしないかぎり、人材は育てないのではないかと。これから、色々問題視をしていただき、どこかで話題にさせていただければいいかなと思います。
- 委員長：北海道の天塩というところに行きまして、そこは人口3,000人の街だが、学校の廃校が一番の問題で、学校に来てくれる高校生に交通費とか、制服とか、全部支援する。高校をなくしたくなくて、そういう状況になっている。過剰かなと思うがそういうことも必要。

○M委員：C委員からあったように、潮来高校の問題は全員協議会でも届きました。A委員からいわれた財政の使い方も、定住・移住をする為には教育福祉は重要ということで財源の大半を使っているが、私個人の意見では観光商工，農林水産業その他にも多く支援して頂ければ，今後市税のアップにもつながるかなと考えている。定住・移住のためには教育福祉，市税のアップには観光商工，農林水産も支援していかないと。難しいことではありますが，考えながら進めたいと考えている。パブリックコメントについては多くの意見を取り入れていただいて，よりよい潮来市第7次総合計画，皆様の協力の下で素晴らしい計画になると思いますので，よろしくお願いします。

○委員長：今日の議論を踏まえた修正について私と事務局に一任いただければと思います。

### (3) その他

4 その他

5 閉会